

# 情報機器を活用した道徳の時間の実践

藤沢小学校

- 1 資料名 「ブータンに日本の農業を」内容項目 4 - (8) 第6学年(道徳)  
～道徳教育推進指導資料(指導の手引き)7 - 「文化や伝統を大切に作る心を育てる」  
(平成11年・文部省)～

## 2 ねらい

外国の人々や文化、伝統を大切にしようとする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人人との親善に努めようとする気持ちを育てる。

## 3 情報機器の活用の意図

道徳の時間における効果的な情報機器の活用法について、3つに整理できる。

資料理解に生かす。

主として扱う読み物資料の内容が、児童の日常生活から離れたもので、内容理解が困難な場合、補助的資料をプレゼンテーションソフトで提示し、児童の資料理解を助ける。

インターネットから画像や各種情報を引き出し、掲示資料として生かす。

道徳の時間の授業展開に利用する。

プレゼンテーションソフト(パワーポイント)を活用して、発問や場面絵をプロジェクターでスクリーンに提示し、授業を展開する。(本時では8枚スライドを用意した。)

道徳的価値の自覚を深めることに生かす。

キーワードを効果的に提示する。終末で音楽や映像を流し授業をまとめる。

この授業では、インターネットやプレゼンテーションソフト、プロジェクターなどを使用し、を重点的に扱った。



## 4 本時の学習活動

	学習活動(主な発問)	児童の主な反応例	指導上の留意点 プロジェクター使用場面	備考
導入	1 日本人々が海外でどのように活躍しているか話し合う。 皆さんが将来、海外に行くときには何を目的に行きますか。  どんな日本の人が海外で活躍しているだ	・観光、旅行。おいしいものを食べに行く。 ・野球選手として行く。 ・留学。 ・仕事の出張で行く。 ・イチロー選手が大リーグ選手で活躍している。	<b>プレ 1 提示</b>  児童の素直な感想を引き出せるように声をかける。 心のノートの「私のページ」にメモをとらせる。  <b>プレ 2 提示</b> 海外で活躍しているスポー	プロジェクター スクリーン 心のノート

